

ナースの星 WEB セミナー

高齢者の 口腔乾燥症と 口腔ケア

日本歯科大学

口腔リハビリテーション多摩クリニック

菊谷 武

We support the enjoyment of eating all through your life!

日本歯科大学

口腔リハビリテーション多摩クリニック



JR中央線東小金井駅前

食心を支える



歯科医師
医師
歯科衛生士
言語聴覚士
管理栄養士
社会福祉士 (MSW)
作業療法士

多摩クリニック診療実態

【R4年3月】

外来患者：990件／月

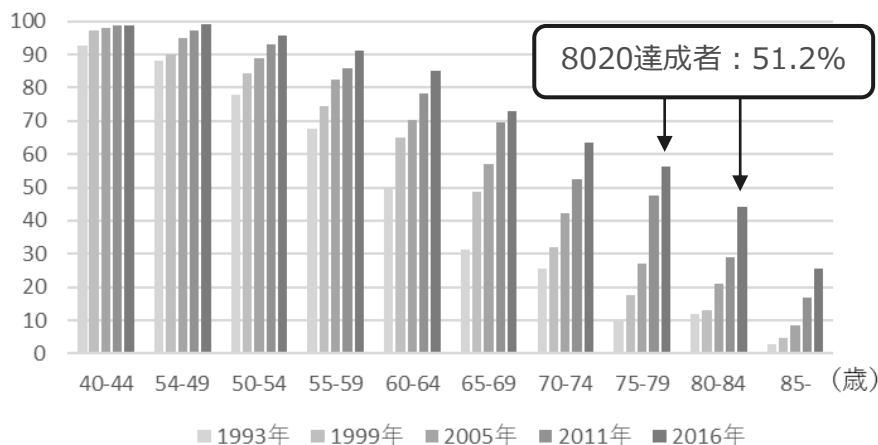
訪問診療：429件／月（うち在宅患者：287件／月）



多死時代 における 多歯時代

菊谷 武：日本歯科医師会雑誌、2007

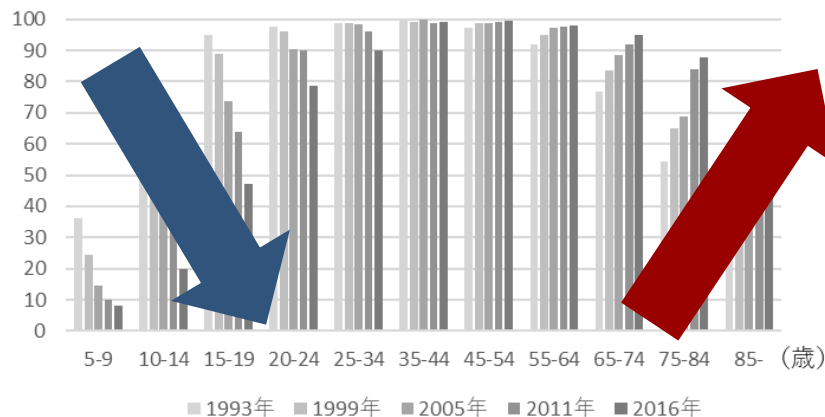
20本以上の歯を有する者の割合の年次推移



う蝕を持つ者の割合
約90% (75-84歳)

8020達成者 51.2%

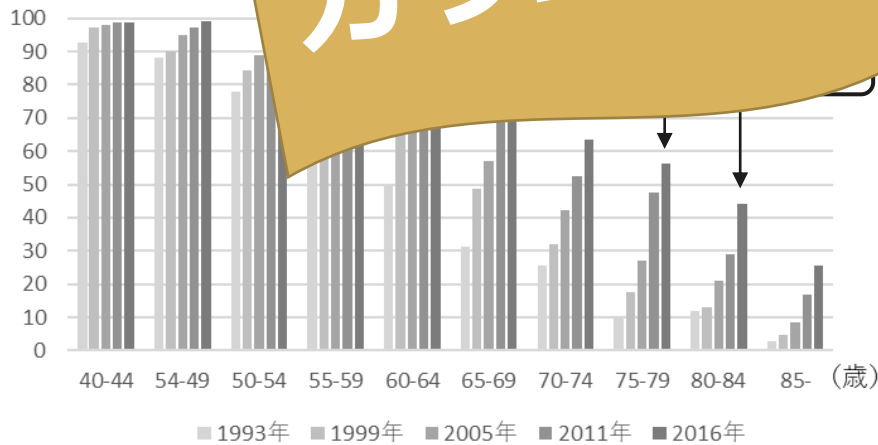
う歯を持つ者の割合の年次推移



多死時代 における 多歯時代

カリエスパンデミック

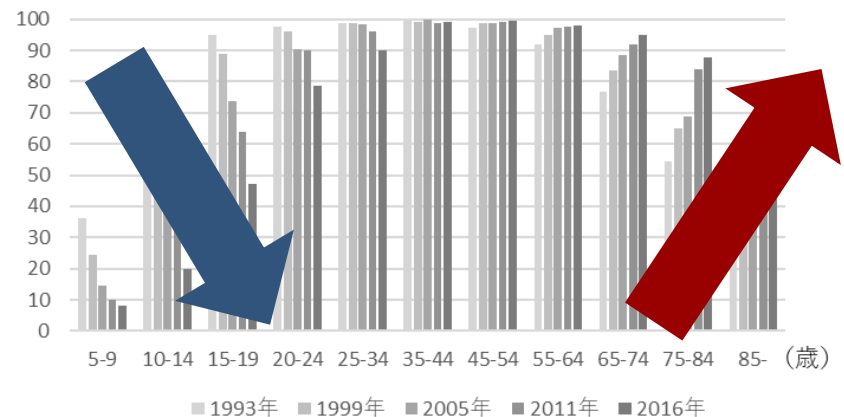
20本以上の



8020達成者 51.2%

う蝕を持つ者の割合
約90% (75-84歳)

う蝕を持つ者の割合の年次推移



いま、在宅高齢者の口の中で 起こっていること



歯や義歯が
大量のバイオフィ
ルムに覆われる



いま、高齢者の口の中で 起こっていること



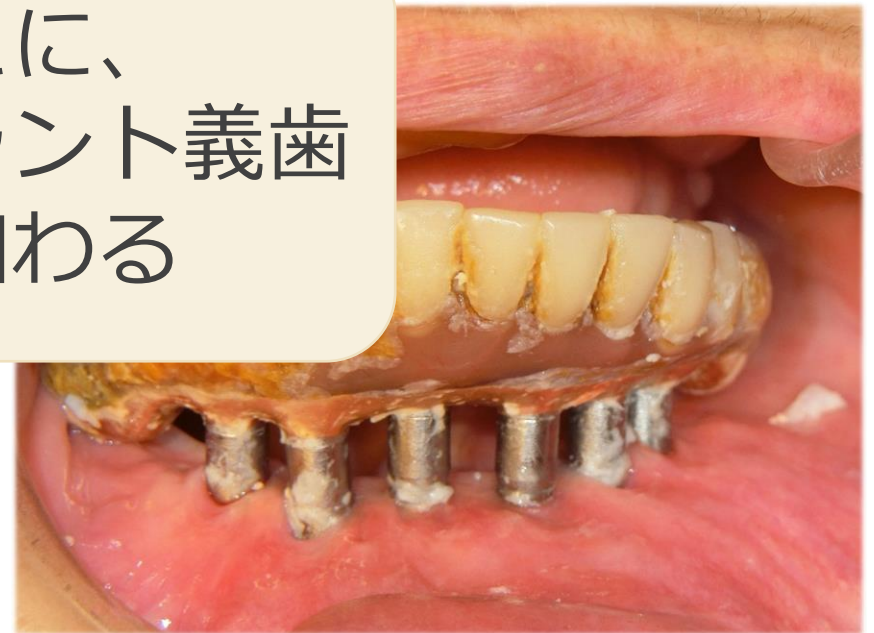
う蝕による
歯冠崩壊



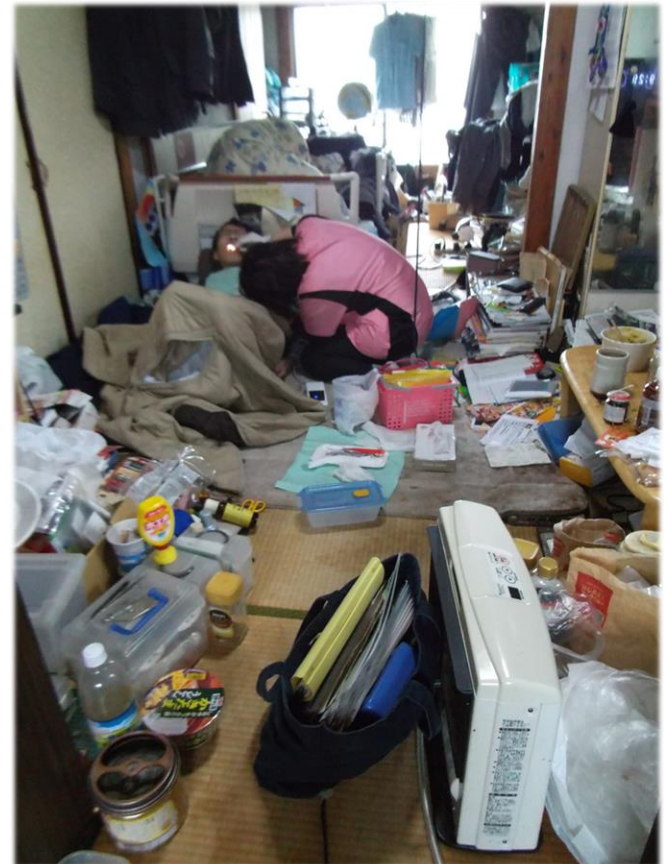
いま、高齢者の口の中で 起こっていること



そこに、
インプラント義歯
も加わる



いま、高齢者の家の中で 起こっていること



口腔乾燥



唾液の機能と成分

機能対象	機能	成分
口腔粘膜 および 歯質	歯の保護および石灰化促進	カルシウム、リン酸
	緩衝作用	炭酸、重炭酸
	口腔粘膜の保護・修復作用	ムチンEpidermal growth factor (EGF;上皮細胞増殖因子)
	抗炎症作用	カタラーゼ、ペルオキシダーゼ
食物	食塊形成作用	ムチン
	消化作用	アミラーゼ
	自浄作用	タンパク
	味覚形成	亜鉛
微生物	抗菌作用・自浄作用	ムチン、リゾチーム、ラクトフェリン、非スタチン、シスタチン、slgA

表を新しく打ち直したので、次の元スライドと間違いないか確認をお願いします

唾液腺と分泌量

	種類	分泌量割合	性状
大唾液腺	耳下腺	20%	漿液腺
	顎下腺	65-70%	混合腺（漿液腺中心）
	舌下腺	5-8%	混合腺（粘液腺中心）
小唾液腺	口唇腺	7%	口唇腺・頬腺・臼歯腺：混合腺 口蓋腺：粘液腺 舌 前舌腺：混合腺 後舌腺：粘液腺 Ebner腺：漿液腺
	頬腺		
	臼歯腺		
	口蓋腺		
	舌腺		

表を新しく打ち直したので、次の元スライドと間違いがないか確認お願いします

唾液と加齢

- 高齢者の唾液分泌量は若年者（1日1～1.5L）の約1/2から1/7に減少する
- 年齢、性差の影響が大きく、特に女性は加齢の影響が強い
- 刺激唾液は加齢による分泌量の変化は少ない
- 安静時唾液は加齢により減少する（主に女性は耳下腺からの分泌量が減少する）
- 主に耳下腺の分泌量が減少するため、相対的にムチンの比率が高くなり粘稠度が増す
- 唾液現症の原因の多くは服用薬によるものと考えられている（原因薬剤：消炎鎮痛薬、抗うつ薬、降圧薬、利尿薬、抗けいれん薬、抗精神病薬）
- 唾液の口腔内貯留は、摂食嚥下障害の存在を疑う

口腔乾燥症

(xerostomia, dry mouth)

- 口腔粘膜の乾燥や保湿度の低下をきたす状態
- 患者の主観的な口腔乾燥感と客観的な検査による唾液分泌量低下の両者を含む。

【原因】

シーグレン症候群、糖尿病、加齢

水分不足：脱水、発熱、下痢

蒸散：口呼吸

薬剤の副作用：抗うつ薬、抗不安薬、

抗パーキンソン病薬、降圧剤、利尿剤、鎮痛薬

放射線治療

口腔乾燥症の症状

- 口渇が主体
- 唾液分泌量の低下により味覚障害や舌痛
- 齲蝕や歯周病の罹患率が上昇
- 口腔カンジダ症
- 口腔粘膜の湿潤低下による発音の不明瞭化
- 義歯の維持安定の低下や義歯装着困難
- 咀嚼や食塊形成不良

検査法（1）

口腔粘膜湿潤度 口腔水分計（ムーカス, (株)ライフ）

- 舌尖から約 10 mm の舌背中央部における口腔粘膜湿潤度を計測する。測定値 **27.0** 未満を口腔乾燥とします。



検査法 (2)

Saxonテスト

- 医療ガーゼを舌下部に置き、咀嚼様の運動を2分間行わせる。
- 分泌した唾液をガーゼに浸みこませます。
- その後、ガーゼの重量を測定することで分泌された唾液の重量を知る。
- 2分間で 2 g 以下の重量増加を口腔乾燥ありとする。

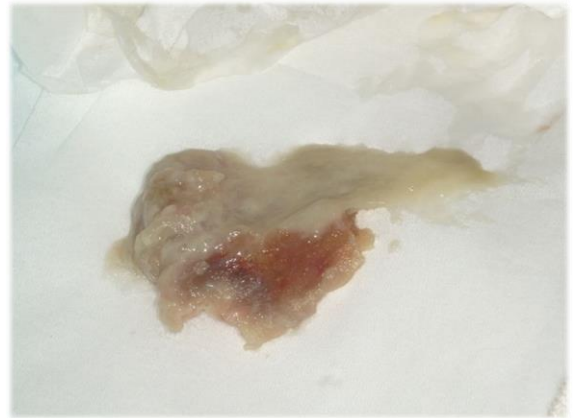


口腔ケア用スプレー
リフレケア
ミスト
ライム風味
健康なお口づくりに

口腔ケア用スプレー
リフレケア
ミスト
ライム風味
健康なお口づくりに
ミスト状のジェルで
乾いたお口に
うるおいを
50mL

剥離上皮膜

- 口腔粘膜から剥離した上皮や細菌が核となり唾液や細菌由来のタンパク質が付着し膜状となったもの
- 非経口摂取者で著しい口腔乾燥を伴う者に多く見られ、無理に除去しようとするすると粘膜の損傷、出血を起こす可能性がある。
- 水や保湿剤などで十分に湿潤したのちに慎重に除去することが望まれる。



剥離上皮膜の種類と形成時間

付着物形態	形成時間	上皮成分の存在	上皮成分の面積率
粘液物	0時間	45%	0%
粘稠物	6時間	100%	45.0%
膜状物	12時間	100%	84.2%

形成時間、上皮成分の面積率：中央値

- 時間経過とともに乾燥性の膜状物になる。
- 乾燥性の膜状物は、一部が口腔粘膜と連続し、無理な除去により出血する。
- ケア間隔を短時間とすることで、ケア時間を短くして、出血リスクも低くする。

種類と形成時間



形成時間、上皮成分の面積率：中央値

- 異なる。
- と連続し、無理な除去により出血する。
- ケア間隔を短時間とすることで、ケア時間を短くして、出血リスクも低くする。

剥離上皮膜の特徴

- 時間経過とともに乾燥性の膜状物になる。
- 乾燥性の膜状物は、一部が口腔粘膜と連続し、無理な除去により出血する。
- ケア間隔を短時間とすることで、ケア時間を短くして、出血リスクも低くする。

痂 疲



痂 痂

- 血液成分や浸出液、膿などが上皮の角質層に移行し凝固、固着したものの
- 「カサブタ」
- 原因：何らかの口腔粘膜の損傷がもとで形成されるものである
- 歯や義歯の存在、クラスプ
- 気管内チューブの圧迫
- 口角炎、口内炎
- カンジダ症
- 対応法
 - 痂痂は安易に除去しようとするとう出血をきたす可能性があるので慎重に対応する。
 - 上皮の治癒を待つて対応する



口角炎
口腔カンジダ



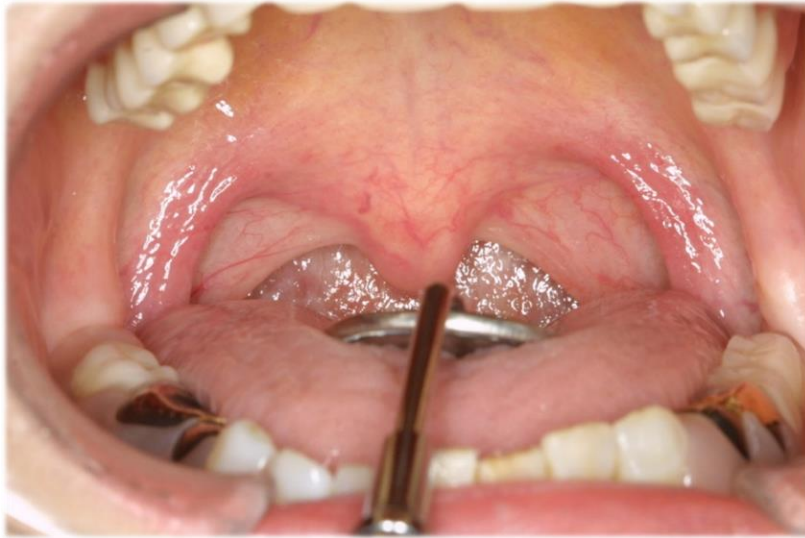
口腔衛生管理



口腔乾燥を伴う口腔カンジダ症



経過（2か月目）



がん終末期患者の症例

- 70歳代前半の女性
- 紹介ルート：在宅主治医の主治医
- 疾患：S状結腸癌、多発肝転移 終末期
- 現病歴：近隣病院での積極的な治療を終了しBSC目的で在宅療養を開始
- 現症：腹水貯留、倦怠感強く、がん性疼痛（腹部）
- 口腔内所見：舌及び口蓋に白斑（口腔カンジダ症）



舌上： 1.04×10^7 CFU

舌圧： 18.9 kPa

- 口腔衛生指導
- 保湿剤を利用した口腔清掃法の教示
- スポンジブラシの使用法の教示
- 抗真菌剤処方への検討



ICU入院患者の症例

- 90歳代の男性
- 紹介ルート：呼吸器内科の主治医
- 疾患：誤嚥性肺炎、認知症
- 現病歴：有料老人ホームから意識朦朧、呼吸状態低下のため救急搬送された。精査の結果、誤嚥性肺炎の診断でICU入室となる。担当看護師より噛みしめがあり、口腔ケアが困難であることから、紹介された。



舌上： 1.24×10^7 CFU

がん終末期患者の症例

- 80歳代後半の女性
- 紹介ルート：在宅主治医の主治医
- 疾患：S状結腸癌終末期
- 現病歴：近隣病院での積極的な治療を終了しBSC目的で在宅療養を開始



舌下： 4.16×10^6 CFU



歯をいつも大事に
していた！



8020表彰状

終末期
口腔機能低下症候群

血性痂皮

口腔粘膜剥離上皮膜

白斑

カンジダ症

口腔乾燥



- 口腔衛生指導
- 保湿剤を利用した口腔清掃法の教示
- スポンジブラシの使用法の教示
- 抗真菌剤処方への検討



保湿ケアの目的

- 口腔粘膜からの水分の蒸散を防ぐ
 - さらなる口腔乾燥の予防

- 舌や口唇の動きをよくする（潤滑剤としての役割）
 - しゃべりやすくなる、噛むことが容易になる

保湿剤の使用目的

- 口腔粘膜からの水分の蒸散を防ぐ
- 舌や口唇の動きをよくする（潤滑剤としての役割）
- 口腔ケアの前に、口唇や口角に塗り、擦過による痛みや損傷を予防する
- 剥離上被膜を軟化（浮き上がらせる）させる
- ケア時の細菌の（口腔内外への）飛散を防ぐ

保湿剤の種類と使用方法

ジェルタイプ

- 特徴：長く口腔内にとどまる
- 剥離上皮の軟化や口腔ケアの開始、終了後の使用に適している。
- 注意：塗布量が多くならないようにする



保湿剤の種類と使用方法

ミストタイプ・スプレータイプ

- 特徴：流れが良い
- 口渇感が和らぐ
- 清涼感がある
- 注意：誤嚥に注意



生きるための、しあわせのための 「くち」を守る

- 「おいしい」という言葉は、幼児が比較的早く覚える言葉です。大好きなお父さんやお母さんから、おいしいものを口元に与えられ、口いっぱい味を感じ、その口で感動を言葉に変えて伝える。おそらく、そんな自然な流れから出る言葉なのでしょう。そして、天寿を全うする時には、家族やお世話になった人たちに、感謝の「ありがとう」を伝えられる口でありたいと思います。
- 私たちは、生きるためのそしてしあわせのための器官である「くち」を守るために、ケアの手を緩めてはいけません。